



【プレスリリース】

2025 年 6 月 19 日

報道関係各位

神奈川県初！ 済生会横浜市東部病院、胃がん手術に「ダビンチ SP」を導入 単孔式ロボット支援手術による低侵襲・高精度な治療を実現

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院（神奈川県横浜市鶴見区、院長三角隆彦 以下、当院）は、神奈川県内で初めて、単孔式手術支援ロボット「ダビンチ SP サージカルシステム（da Vinci SP）」を用いた胃がん手術を実施いたしました（実施日 5 月 26 日）。同手術は、従来の開腹手術や多孔式の腹腔鏡手術と比較して、より小さな創部での手術が可能で、術後の回復が早いという利点があり、患者さんの負担軽減に大きく寄与するものです。



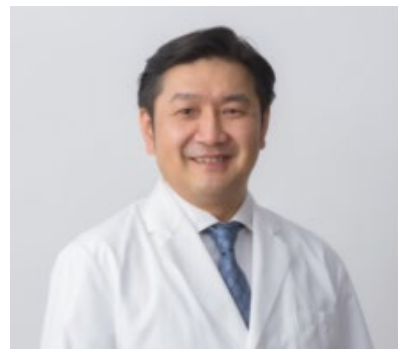
■ 手術概要と導入の背景

本手術は、ダビンチ SP を用いてわずか 1 つの小さな切開口からカメラと 3 本の手術器具を同時に操作し、胃がんの切除およびリンパ節郭清を行ったものです。当院ではこれまでに大腸がん、肝臓がんなどの消化器がんに対してもロボット支援手術を展開しており、今回の胃がん手術の成功により、さらに広範な消化器がん治療への応用が期待されています。

■ 執刀医からのメッセージ

神奈川県で初めてダビンチ SP システムを用いた胃がん手術を実施いたしました。SP 専用の軟性内視鏡およびインストゥルメントで 360° の解剖学的アクセスが可能で、配置するポートは 1 つで外部での衝突はないという特徴を有します。

そのため、骨盤深部など狭小空間での手術操作もストレスがありません。また、従来のロボット支援手術より整容性も高いので、若い患者さんにも恩恵があります。今後も低侵襲なロボット支援手術の更なる発展に努めてまいります。



副院長・消化器・一般外科センター長
江川 智久（えがわ ともひさ）

（次頁に続く）

＜本件についてのお問い合わせ先＞

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当：波多野・荒木・吉村

電話：045-576-3000

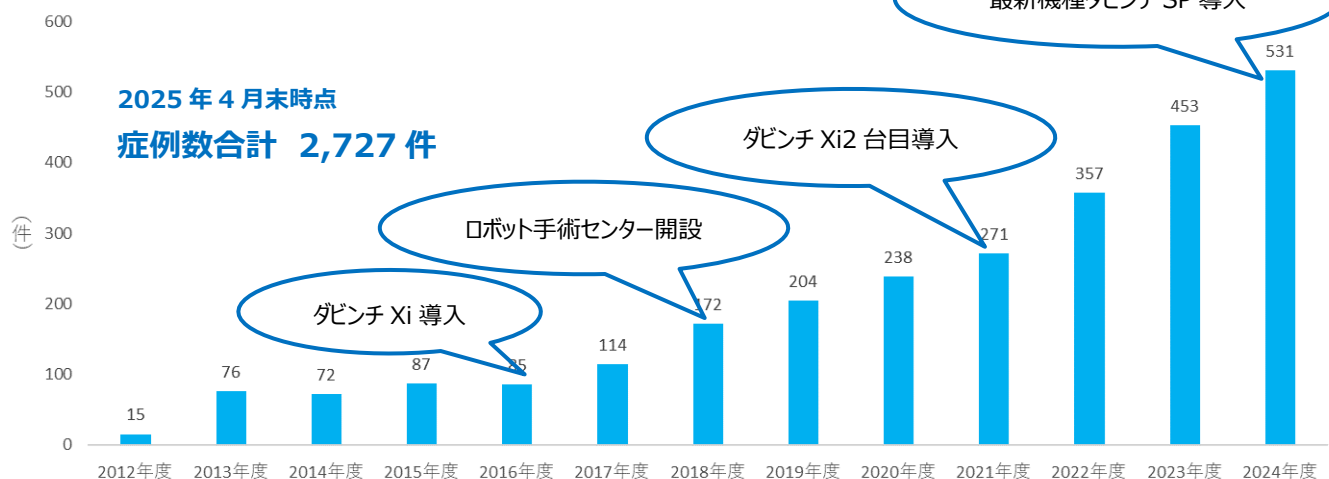
〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3 丁目 6-1

Email: koho@tobu.saiseikai.or.jp



■済生会横浜市東部病院ロボット手術センター紹介

済生会横浜市東部病院のロボット手術センターは、最新の手術支援ロボット「ダビンチ SP」（単孔式）と「ダビンチ Xi」（多孔式）の2機種を導入し、泌尿器科、外科、呼吸器外科、産婦人科など多岐にわたる領域で手術を実施しています。また、肝胆膵・胃・大腸・食道など、複数の消化器領域において専門医がロボット手術を実施しており、年間症例数も着実に増加しています。また、公式キャラクター「ロボてくん」を通じて、ロボット支援手術を身近な治療の選択肢として広める取り組みも行っています。



対象疾患と実施状況

診療科	対象疾患	術式	対応状況	
			Xi	SP
泌尿器科	前立腺がん	前立腺全摘	○	○
	腎細胞がん	腎部分切除術	○	○
		腎摘除術	○	○
	膀胱がん	膀胱全摘	○	未
	腎盂尿管移行部狭窄症	腎盂形成術	○	○
	腎盂・尿管がん	腎尿管全摘術	○	○
		副腎摘出術	○	○
		副腎摘出術 (褐色細胞腫)	○	未
外科	胃がん	幽門側胃切除 胃全摘	○	未
	大腸がん(直腸)	直腸切除・切断術	○	○
	大腸がん(結腸)	結腸切除術	○	○
	食道がん	食道切除術	○	×
	膵体尾部腫瘍	膵体尾部腫瘍切除術	○	未
	膵頭部腫瘍	膵頭十二指腸切除術	○	×
	肝臓がん	肝切除術	○	○
	膵・胆管合流異常症	総胆管拡張症手術	○	×
婦人科	良性子宮疾患	子宮全摘	○	○
	子宮体がん	準広汎子宮全摘 (骨盤リンパ節郭清術)	○	○
婦人科 泌尿器科	骨盤臓器脱	仙骨固定術	○	未
呼吸器外科	縦隔腫瘍	縦隔腫瘍手術	○	未
	肺がん	肺悪性腫瘍手術	○	○

○：実施済み／未：対応しているが、まだ手術なし／×：予定なし



ダビンチ SP



済生会横浜市東部病院ロボット手術センター
公式キャラクター「ロボてくん」

<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:波多野・荒木・吉村

電話:045-576-3000

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目6-1

Email: koho@tobu.saiseikai.or.jp